

2022年10月28日

# 千教組闘争速報14号①

県教委交渉（人事異動）

各支部長、各専門部長 様

千葉県教職員組合 中央執行委員長 渡邊 郁哉

## 人事異動に関する県教委交渉

連日のとりくみに敬意を表します。千教組は、10月27日、櫻井書記長をはじめ中央執行委員、各支部代表者の参加のもと、千葉県教育委員会と人事異動に関する交渉を行いました。千教組の重点要求項目10項目にわたり、学校現場の声をもとに要望を行い、回答を求めました。

### <県教委への主な要望>

### ※現場の声

- ①本人の「希望と承諾」を前提とした人事異動、対象者に寄り添った管理職の丁寧な対応
- ②初任研対象者と臨時的任用講師の配置バランスや経験年数の考慮  
※市原市支部 田中書記長より「初任者研修対象者と若年層講師の配置について」
- ③一人職種における初任者研修に係る非常勤講師の4月1日からの配置  
※養護教員部 木原部長より「初任者指導教員4月1日からの配置の必要性について」
- ④新卒の講師等、経験の浅い講師への指導教員の配置  
※山武支部 木村書記長より「経験の浅い講師への指導教員の配置について」
- ⑤定数内臨採の解消
- ⑥教員採用候補者選考の教職経験者、元教諭特例の更なる充実
- ⑦定年引上げの早めの情報提供及び任命権者による説明
- ⑧教職員の未配置問題解消に向けた実効性ある方策
- ⑨休眠状態の旧免許状所有者への周知、再授与申請手続きの簡素化
- ⑩定年後の人材確保に向けた、雇用条件等の説明会の開催

### <県教委からの主な回答>

- ①個別の事情や希望を十分に聞いた上で、丁寧な対応をしていく。
- ②様々なことを勘案する中に職員構成も含まれる。まずは配置をすることを第一に考える。
- ③配置が必要とされる期間に配置をすることが重要。当初配置が必要ことは理解できる。
- ④現場の状況から必要感は理解できる。学校現場でのフォローをお願いしたい。
- ⑤やむを得ず、臨時的任用者を配置してるが、特定の学校に連続配置とならないように努める。
- ⑥教員採用候補者選考の選考方法等については、今後も充実させていくよう検討している。
- ⑦職員が定年延長に係る内容を十分に理解できるような説明会の開催などに向けて、時期や対象範囲を検討中である。
- ⑧様々な工夫により採用選考志願者が9年ぶりに増加した。今後も講師確保に努めるとともに、計画的な正規教員採用を進め未配置の解消に努める。
- ⑨様々な方法での周知活動を今後とも続けていく。また、再授与申請手続きはできるだけ簡素化できるように検討していく。

交渉の終わりに、櫻井書記長は「様々な代替職員不足の解消が大きな課題である。採用選考などの工夫だけでなく、大量退職の緩和が鍵となる。続けて働こうと思うのに重要なのは『職場の雰囲気』だと考える。そのために行政・管理職・千教組で力を合わせる必要がある。また、増え続ける若年層教職員のフォローは現場だけでは解決できない状況にある。フォローをした職員自身が業務過多で倒れることも実際起きている。今までの常識を変える方策を打たないと解決できない。制度そのものの改正など検討していただきたい。最後になるが、千教組は教職員の人事異動を重要視している。異動する本人の仕事や生活だけでなく、同僚や学校全体にも大きく影響を与えるからである。『個人の事情や要望を十分に聞いた丁寧な人事異動』が県全体で行われるよう引き続きご尽力いただきたい」と申し述べ交渉を終わりました。

**わたしたち教職員にとって、人事異動は非常に大きなことです。組合員のメリットは、相談できることです。家族のことや自身のことなどでご心配な方は、各支部で人事異動の相談ができます。ぜひお問い合わせください。**